

## 6 5 回生進路オリエンテーション

## 1 入試日程

## 2014年度入試 スケジュール

		国公立大学		私立大学 短期大学	
		分離・分割方式	中期日程(公立大学のみ)		
2013年	7月	31日まで 選抜要項(日程・定員・出題科目・時間・配点など)発表			AO入試
	9月	初旬～ 大学入試センター試験 受験案内配付			
		9月～10月 大学入試センター試験 検定料等払込			
	10月	10月初旬～中旬 大学入試センター試験 出願			
	11月				推薦入試
	12月	～15日 募集要項発表			
2014年	1月	18・19日 大学入試センター試験(本試験)			出願
		18・19日 大学入試センター試験 正解等の発表			
		22日予定 大学入試センター試験 平均点等の中間発表			
		～24日 推薦入試(大学入試センター試験を課さない場合)結果発表			
		24日予定 大学入試センター試験 得点調整実施の有無の発表			
		25・26日 大学入試センター試験(追試験・再試験)			
		27日～2月5日 2次(個別)試験 出願			
	2月	6日予定 大学入試センター試験 平均点等の最終発表			
		～12日 推薦入試(大学入試センター試験を課す場合)・AO入試結果発表			
		～12日 第1段階選抜の結果発表(前期)			
		～19日 推薦入試・AO入試合格者の入学手続			
		25日～ 前期日程試験			
		～28日 第1段階選抜の結果発表(後期)			
		～20日 第1段階選抜の結果発表			
	3月	1日～10日(国立は6日～) 合格発表			合格発表・入学手続
		12日～ 後期日程試験			
		～15日 入学手続			
		20日～24日 合格発表			
		～27日 入学手続			
		8日～ 中期日程試験			
		20日～23日 合格発表			
		～27日 入学手続			
		28日～ 追加合格者発表 欠員補充第2次募集 出願・試験			
		～31日 入学手続(第2次締切)			
4月	16日～	大学入試センター試験 成績の本人開示			

※国公立大学の実施日程は、上記日程と一部異なる場合があります。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

※私立大学・短期大学の出願期日・試験日・合格発表日等は各大学で設定されています。

※私立大学のAO入試は夏以降、年間を通じて実施されています(原則8月1日以降出願スタート)詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

- センター試験まで約275日、前期試験まで約310日

この期間をいかに活用するか。

## 2 入試に向けて

### 2.1 3年次の予定

「進路の手引き」、「学校行事予定表」に「進路年間計画」と「学力テスト計画」の詳細が記載してあるので、必ず確認すること。

### 2.2 センター出願と個別出願について

センター出願要項は学校で取り寄せ，学校から全員の分を一括で出願する。個別入試については，願書の取り寄せ，出願は個人で行う。

金沢大学といくつかの私立大学は要項および願書は学校で取り寄せる。

### 2.3 模試について

夏休み中や2学期中にある各大学模試や全国模試模試は，希望者の募集を進路が窓口となって行う。7月末，8月，9月分の案内と募集は6月に，10月，11月，12月分の案内と募集は9月に行う。

## 3 大学入学試験について

### 3.1 入試の種類

- 一般入試      =>      前期 (78,667 名)，中期 (1,867 名)，後期 (20,049 名)
- 推薦入試      =>      学校長推薦（「センターあり」と「センターなし」）と指定校推薦，学校からの推薦人数に制限がある場合には校内で選考の上，出願となる。その際，生活状況や学校行事への参加状況などが考慮される。
- AO入試        =>      「センターあり」と「センターなし」がある。課題の提出を求めるものや，学力試験と小論・面接からなる場合などいろいろ。

### 3.2 センター試験について

教科	グループ	出題科目	試験時間
国語		『国語』	80分
地理歴史・公民		「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」 ※ 最大2科目受験可（注2）	60分又は120分
数学	①	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」	60分
	②	「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」	60分
理科		「理科総合A」、「理科総合B」、「物理Ⅰ」、「化学Ⅰ」、「生物Ⅰ」、「地学Ⅰ」 ※ 最大2科目受験可	60分又は120分
外国語		『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	【筆記】80分 【リスニング】30分（『英語』のみ）

（注2）地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできない。

#### ● 注意すべき点

受験教科は事前登録制となる。理科，地歴公民については，1科目受験と2科目受験の選択を出願時に申請する。変更は認められない。

- 平成26年（2014）1月18日（土），19日（日）実施，時間割についての正式通知は25年6月の予定，

以下に主な大学の科目指定の状況を記す。なお，「医」は保健，看護を含まない場合があるので，各大学の要項で必ず確認すること。

- 個別を含めて，理科の科目が3科目必要な医学部  
北海道，京都，九州（前期），佐賀（前期），長崎（前期）のみ。他の3科目を指定していた医学部は2科目に戻した。
- 地歴公民4単位科目のみを指定する国立大学の例  
北海道，東北，秋田（医学部），山形（医学部），筑波（人文・文化の前期，生命環境，理工），千葉（文，医），お茶の水女子，東京，東京医科歯科（医，歯），東京外語（後期），一橋，富山大，金沢，福井（医），岐阜（医），名古屋，滋賀医（医）京都（文，法，総合，医は地歴のみ，教育，経済<理>，理，医<人間>，薬，工，農は地歴公民4単位のみ），大阪，神戸，鳥取（医）高知（医），九州（法は地歴のみ，文，教育，経済，理，医，工，芸術工），

### 3.3 個別試験について

二次選抜では、前期文系は「国語，数学，英語（北大・法・経，東北，大阪・法・経など）」、「国語，地歴公民，英語（筑波第二学群など）」、「国語，地歴，数学，英語（東京，京都など）」、「国・英（金沢文など）」前期理系は「数学ⅢC，理科Ⅱ，英語（北大，東北など）」、「国語，数学ⅢC，理科Ⅱ，英語（東京，京都など）」がある。また，各教科において科目指定がされている場合もあるので十分な注意が必要である。また，後期についても同様の注意が必要である。

なお，詳細については，7月末までに発表される。

- センターと合わせて地歴2科目必須となる大学

東京（文科），京都（文，法，経済，総合人間文系）

- 国公立大学二次試験科目の例 25年度入試の場合

教室にある「蛍雪時代」，ネットでも公開されている。進路指導室前の棚には「募集要項」が届き次第，掲示する。また，予備校発行の科目一覧などを参照する。

- 平成25年度入試の変更点について

北海道（理・生物 AO入試の廃止），筑波（医・看護 後期廃止），群馬（医 後期廃止，前期：物化を追加），横浜市立（医 セ：地学を除く，小論文の扱い，配点比率の変更），名古屋（医 面接を追加），名古屋市立（後期廃止），京都（総合人間 リスニング廃止，理 センター得点との合計点で合否判定），大阪（理 後期廃止とAOの導入，基礎工 後期廃止），神戸（経済 後期廃止），奈良県立医（医 前期は総合問題，後期は学科試験），九州（薬 後期廃止），佐賀（医 英数理2の学科試験，セは物化）熊本（医 生物必修）

- 平成26年度入試の変更点について

筑波（社会・国際・国際総合 後期日程廃止），千葉（法経・法 前後期 セ科目 数2 数学AB），都留文科（比較文化 中期 セ科目 地歴1科目は必須，二次 英，小論 英のみ），信州（医・医 前期 二次 数C，小論，面接 英語，数C，小論，面接），金沢（人文・言語文化・日本文学 日本文学 推薦廃止，人文 前期 セ科目 数2 数学AB，後期 セ科目 数1 数ABより1，理工 機械，電子情報 AO廃止，数物科学 前後期 セ科目 理科1 理科2），岐阜（医・医 前後期 二次 英数理 英数理・面接（集団）」、「医学科のアドミッションポリシーに適合しないと判定した場合は、総合点にかかわらず不合格とする場合がある。」），岡山（医・医 後期廃止），九州（医・医 後期廃止），長崎（医・医 AO廃止），熊本（医・医 前期 面接増，薬 後期廃止）

## 4 模擬試験の使い方

模試の結果が帰ってきたとき、志望校の判定だけを見る人がいる。これでは折角の模試が生きてこない。模試を活かすために、次のことを実行して欲しい。

- 各教科・科目の中の、分野別の出来不出来を確認する。いつも偏差値や得点率が他より低い分野は弱点なので、早めに克服する努力を行う。
- 自分の偏差値と平均から、次の計算式で偏差値1ポイントが何点に相当するかを求める。欲しい偏差値との差に、この得点を掛けることで、今回の模試で何点足らなかったかがわかる。その得点は本当に無理な点？

$$\text{偏差値1ポイント分の得点} = \frac{\text{得点} - \text{平均}}{\text{偏差値} - 50.0} \quad (1)$$

- 解き直しはしなくとも、見直しは必ずする！解説を読むだけでも勉強になる。
- 模試の受験数は、見直しをするのに必要な日にちも考え、体力と相談して決める。無闇に沢山の模試を受けても意味がない。